

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 香美市

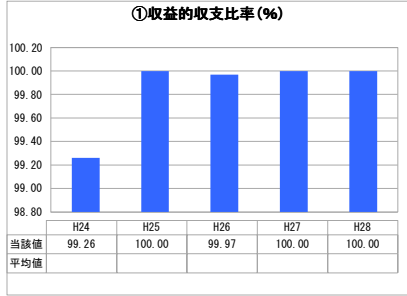
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.73	108.97	2,376

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,641	537.86	49.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
194	0.18	1,077.78

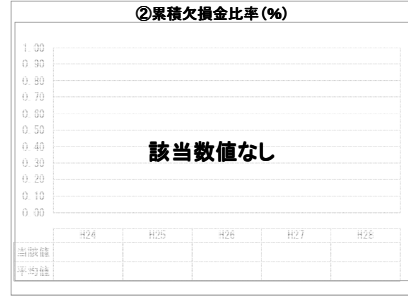
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

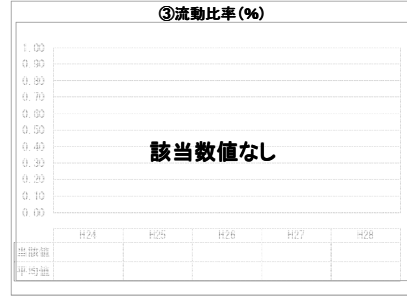
1. 経営の健全性・効率性



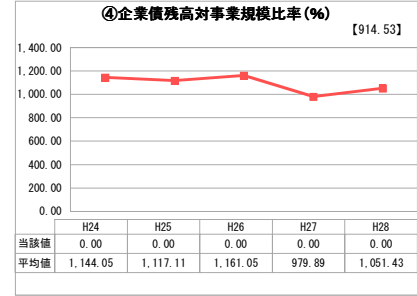
「単年度の収支」



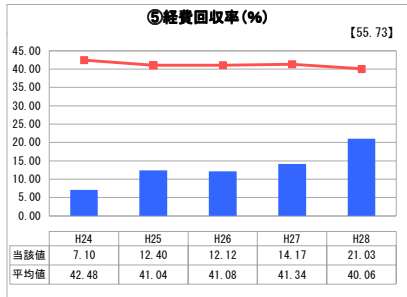
「累積欠損」



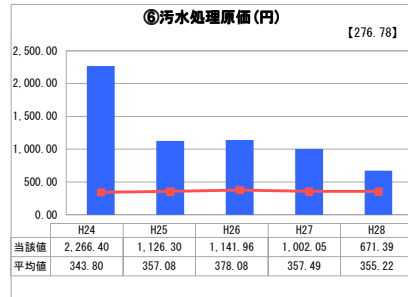
「支払能力」



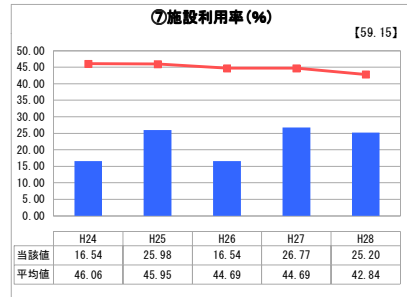
「債務残高」



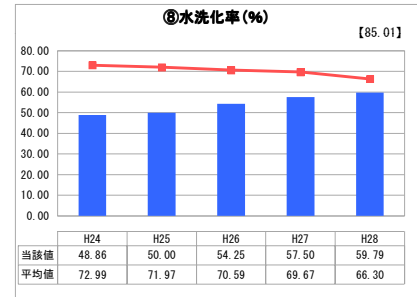
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

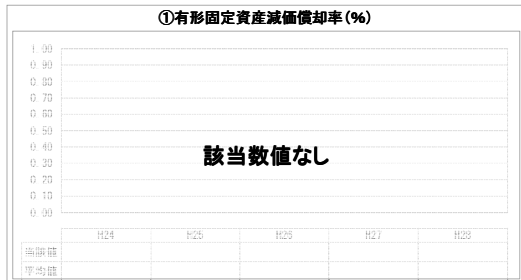


「施設の効率性」

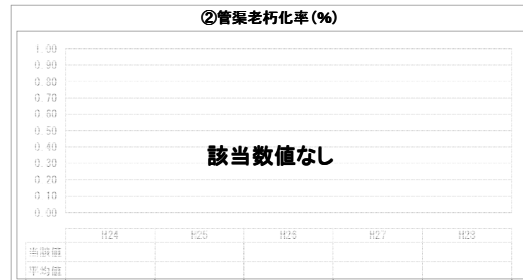


「使用料対象の捕捉」

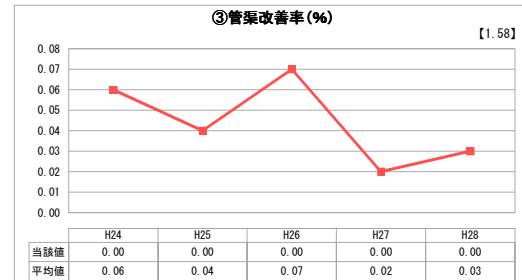
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成24年に供用が開始された施設です。④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。⑤経費回収率については、表で示されているとおり、使用料以外の収入に依存した経営となっております。下水道接続可能戸数も少ないことから、使用料収入の大幅な増加も見込めないため、今後経営状況が悪化することが予想されます。

2. 老朽化の状況について

平成19年に事業を開始し、平成24年に供用が開始された比較的新しい施設です。現状では老朽化による修繕や不明水の流入による問題は発生していない状態です。今後は、管路や施設の老朽化対策として、更新・維持管理計画を策定し、効率的に維持管理を行っていく必要があります。

全体総括

引き続き接続勧奨を行い、接続率向上による有収水量及び下水道使用料の適正確保に努めるとともに、下水道使用料の改定についても平成30年度以降検討を開始します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。